

令和4年度第2回沖縄県地方創生推進会議における委員意見への対応等

資料3

番号	委員名	委員意見	対応方針
1	大城りえ委員 (事前意見)	基本施策1の(1)結婚・出産の支援の充実の2行目(地域で妊産婦を支える体制の整備)の中に子ども家庭センターについて記述が必要かどうかご検討頂きたい。	委員意見を踏まえP37、9行目へ記載した。
2	大城会長	改訂骨子(案)の基本施策4、離島・過疎地域の振興に関する取組の中で(1)安心・安全の確保と魅力ある生活環境の充実、(2)地域の資源・魅力を生かし潜在力を生かす、それから(3)交流の活性化と関係人口の創出という項目があるが、全県的に当てはまる内容ではなく、医療や教育、生活などの離島の課題を書いたほうがいいのではないか。	【基本施策4】については、全県的にあてはまる「振興」から「離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組」に変更した。 大枠(1)(2)(3)は、「新・沖縄21世紀ビジョン基本計画」を参考に記載している。課題については第3章(P30)(離島・過疎地域の個性を生かした持続可能な社会)に追記した。
3	崎山委員	どの地域にも当てはまり、離島・過疎地域の地理的、経済規模的な不利性が分かりづらい。施策の大きな柱のところでワードの工夫があってもいいのではないかと思う。	
4	鯨本委員	離島地域に特化したものという、本土地域との条件不利性解消を具体的に書くことになるかと思う。具体的に3つか4つに記載することが難しく、網羅的に短い文章で説明するとこのような表現になってしまうのかと思う。 ただ、4つ目としてアクセス面での条件不利性や少人数コミュニティで地域を回すために必要な施策が入ると良いと思うが、どう表現するのか要検討だと思う。	アクセス面での条件不利性への取組については、P70、1行目～6行目、少人数コミュニティに関する取組については、P77、3行目～17行目に記載している。
5	鈴木委員	今回DXが大きなテーマだと思う。離島・過疎地域、その他の地域において、DXが通じる環境が浸透しているわけではない。テレワークやビジネスをしようと思っても、ツールやコミュニケーションができないことがある。 全ての人が同じように最低限のツールを使ってコミュニケーションを取れて情報を共有できることが大事だと思う。	テレワークに関する環境整備については、P77、19行目～26行目に記載している。 また、最低限のツールを使ってコミュニケーションが取れるよう、5Gなど次世代の通信環境の普及促進について、P70、4行目に記載している。

令和4年度第2回沖縄県地方創生推進会議における委員意見への対応等

資料3

番号	委員名	委員意見	対応方針
6	高崎委員	今回フォーカスしていく点がDXで、「DX✕離島」が焦点になるかと思う。第5の地域別展開でもう少しブレイクダウンしたものが書かれると思う。離島は高齢化が進んでおり、ITに親和性がない方もいる中で、DX化をする課程でそのような支援をするか、高齢者に焦点を当てて記載するのも重要だと思う。	委員意見を踏まえ、デジタルデバインド対策の推進についてP69、9行目に記載した。
7	大城会長	デジタルリテラシーには世代間によって大きな差があるため、DXを進める際にどう考えて計画を作っていくかがポイントだと思う。	
8	鯨本委員	タイトルが「離島・過疎地域の振興に関する取組」とあるが、ここは「振興」でいいのか少し引っかかる。	委員意見を踏まえ【基本施策4】「 <u>離島・過疎地域の潜在力を引き出す取組</u> 」へ変更。
9	崎間委員	施策4の3つの項目について、沖縄はそもそも離島であり、宮古、八重山など離島が沢山あるので、DX化をもう少し細かく盛り込んでも良いのではないか。	情報通信基盤の強化や、遠隔教育・医療の推進、観光分野のDX、スマート農林水産業、ワーケーションの推進など、各分野の取組にデジタルの要素を盛り込んでいる(P70～P77)。
10	親川委員	離島や過疎地域において人や物の移動など問題を抱えている。また、離島・過疎地域では人がいないことが非常に大きな課題だと思う。特産品をどう掘り起こすか、観光振興をどう取り上げていくかが大事だと思う。	人や物の移動に関する問題への対応として、人流・物流のコスト低減の取組を記載している(P70、2行目)。また、離島観光の国際化や多様化する観光ニーズに対応する取組(P73、11行目)や地域資源を活用した特産品の振興(P74、30行目)を記載した。

令和4年度第2回沖縄県地方創生推進会議における委員意見への対応等

資料3

番号	委員名	委員意見	対応方針
11	鈴木委員	離島に関しては、最大公約数の表現をすると思うが、一つ一つの離島が抱えている問題は違う。一つ一つの離島にピックアップ、ケーススタディをして、何に困っているのか、何を必要としているのかを挙げていただくことで具体的な内容が確認できると思う。	離島が抱えている問題については、「次代を拓く持続可能な島づくり計画」において、それぞれの離島ごとに整理された課題に向けた対応を推進していく。